

開催日時：2022年11月1日（火）13:30-14:40

開催場所：オンライン開催

参加人数：79名

議論の主な内容：「総合知」の活用の取り組みについて事例をご紹介いただき、企業活動における「総合知」の果たす役割、疑問や効果的な方策・課題等について参加者と意見交換を行った。

プログラム概要：

- ・内閣府より総合知の基本的考え方と推進方策の紹介
- ・産業界での総合知の活用事例紹介（3例）
- ・質疑・意見交換

## 総合知の活用事例として以下の取り組みを紹介

### ① 北海道大学、企業、地域をつなぐ「多様性で創造する、研究開発と社会実装」～総合知は多様性から～ （北海道大学/日立製作所 吉野 正則）

JST・文部科学省のCOI北海道大学拠点では、母子を中心に、家族が健康で安心して暮らせる社会をめざして、子どもとともに、みんなが、健康で元気に成長できる地域モデルを構築し、「ひと」と「まち」が『食と健康の達人』として育つ社会の実現に取り組んでいる。母子健康調査と腸内環境の科学的理解により母子の健康を知り、食・生活の改善を促進するとともに、健康経営都市プラットフォームとデータ・ヘルスケアプラットフォームの社会実装を自治体および企業と連携して進めている。この結果、低出生体重児の割合が15年から19年にかけて約10%から約6%に改善するという効果が得られた。21年からは少子化克服へのチャレンジをテーマに、研究に取り組んでいる。

### ② 名古屋大学COIにおける総合知の活用 （名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 森川 高行）

高齢者が元気になるモビリティ社会の実現にむけた、自動運転技術を核とした総合知的取り組みを紹介。健康自立度が高い高齢者はウェルビーイングも高いが、徐々に日常生活に支援が必要となりウェルビーイングが低下する。これを「移動」で支援に取り組んだ。

### ③ 名古屋大学COI「人がつながる“移動”イノベーション拠点」に参画して学んだこと （KDDI総合研究所 大谷 朋広）

KDDI参画の目的：KDDIが有している情報通信技術のあり方を明確化し、その技術を利用した商品開発と基礎技術力を向上させた。思っていたことを名大と協力し、総合知として実施することができた。

## ワークショップでの意見およびアンケートにおける主な意見

### （場の構築）

- あくまでも手段、アプローチの一つであることをわきまえ、何人集まれば総合知ということではなく柔らかく取り組みたい。（討論での意見）
- 大学と企業との共同研究のありがた。共同研究契約の「型」ができてしまい、大学としてはそこから変更しないという硬直的な契約交渉が進められている。両者の持つ技術の価値や、事業化の際の努力（技術以上に事業化の努力が重要である場合など）に応じて、契約はフレキシブルに変更できるように変わって欲しい。
- 色々な専門分野の言葉を翻訳できる人が一番重要。少なくとも、お互いがお互いの言語を理解するよう努力することは必須。
- 秘密保持が極めて重要。総合知を進めようと思ったら、各企業が秘密情報を出し合わなければならない。しかし、秘密情報を出した企業が損をして、情報の開示を受けた企業が得をする仕組みになってしまいたいけない。
- それぞれの専門分野のみを考えるのではなく、それぞれがあるべきToBe像を描き、それらをぶつけ合い、ブラッシュアップしていくことで、より良いToBe像が出来ていくのではないか。
- それぞれの役割を活かせる形でのプロジェクト、例えばScience to Innovationの流れを作るような形で、一つの目標に向かって活動をするとうまいのではないか。

### （人材育成）

- 理系、文系と分けないように持って行くことが大事である。日本は高校の段階から分けているが、世界はもっと柔軟な議論をしている。（討論での意見）
- 大学教育から理系、文系といった分け方を止めて総合知を会得しうる能力を育成する教育を実施する。
- ジョブローテーションで違う環境に身を置くこと。出向も可。
- 「社会に役立つ自分になりたい」という意識を持った人を多く育成する。
- 職種の垣根を超えた市場創造に対する教育。

### （人材活用・キャリアパス（評価））

- 多様な人材を積極的に登用すること。環境の整備。ひいては文化の醸成。
- 大学側で、企業で研究者として永年勤務した者の受け入れは少ないように思う（事務方は別として）。研究の側面はともかく、教育の側面で企業で長い期間を経験した者の受け入れ拡大は融合に有効ではないかと思う。
- クロスアポイント制度を利用しているが、受け入れは少ないので、この制度を改善すると増えるかもしれない。

### （問いの立て方）

- 世のため人のために是非やってみたいと思うような明確なビジョン・未来像の提示。

### （総論）

- 総合知は大事だが、ある意味で手段である。手段を主語にした議論をあまりしない方が良い。どんな問題を解くのかを定義すれば、その手段として総合知ができてくる。（討論での意見）
- 本日紹介のあった事例自体が総合知であり、そうした事例の展開をして欲しい（普及に向けて）。（討論での意見）
- 問題や価値を上手く設定して上手く解決した事例をなるべく多くの人に見てもらい、自社もやろうと持って行くことではないか。（討論での意見）